

# モンゴル詩集『生きる所以』日本語訳のアリタレーションについて

“Амьдралын төлөөс” ном дахь монгол шүлгийн толгой холбох аргыг

Япон орчуулгандаа харгалзан үзсэн нь

Alliteration in the Japanese Translations of Mongolian Poetry “The Reason for Live”

木村 理子 (КИМУРА Аяако / KIMURA Ayako)

(東京外国語大学非常勤講師)

モンゴル詩集『生きる所以』(作者：チャグナーギーン・プレブドルジ、訳者：木村理子、出版：モンゴル国立教育大学学術研究課及びモンゴル作家同盟ハンタミルセンター、ウランバートル、2022年)は、モンゴル語の原詩を表示した日本語対訳の詩集です。

モンゴル詩集『生きる所以』の日本語訳は、すべて頭韻を踏んだ訳になっています。翻訳におきましては、正確な翻訳を意識しながら、行頭の音合わせを優先しました。そのように、頭韻を踏むモンゴル詩の創作技法をモンゴル詩の翻訳技法にしたことで、日本語訳に韻律が生まれてゆき、日本語訳は日本語の詩になってゆきました。

本発表では、モンゴル詩集『生きる所以』の日本語訳を紹介しながら、アリタレーションを用いたモンゴル詩の翻訳の楽しさについて次の項目に沿って発表いたします。

1. 詩集『生きる所以』と Ch.プレブドルジ氏の詩の世界について
2. アリタレーションを特色とするモンゴル詩の創作技法について
3. アリタレーションを用いたモンゴル詩の翻訳の楽しさについて